

# SL復活運転プロジェクト

# 始動



2017年夏。

半世紀の時を経て、SLが復活します！

特集

2

## SL復活運転プロジェクト ～地域社会との絆をより深く～

「鉄道産業文化遺産の復元・保存」と日光・鬼怒川エリアを中心とした新たな「地域の観光活力創出」を目指し、地域や関係鉄道事業者様のご協力を得て「SL復活運転プロジェクト」が実現へと向けて動き出しました。

### 【SL復活運転プロジェクトの目的】

#### 日光・鬼怒川エリアを中心とした新たな「地域の観光活力創出」

奥深い歴史と文化、それを育んできた豊かな自然が共存する日光・鬼怒川エリア。沿線地域の足としての役割を担う当社は、この地域と共に歩んでまいりました。沿線地域の人口減少や社会構造の変化等により、地方創生に向けた動きが進む中、SL復活運転という鉄道会社ならではの事業に挑戦することで、地域と手を取り合い、日光・鬼怒川エリアの観光活力創出ひいては栃木・福島エリアの支援・活性化に貢献してまいります。

#### 「近代化産業遺産」としてSLの保存・活用

我が国の近代化に貢献した産業、交通・土木遺産は「近代化産業遺産」と総称されていますが、この中には歴史的な鉄道車両や駅舎、橋梁、トンネルといった鉄道産業文化遺産も多く含まれています。博物館を有する「東武」の特性を活かし、こうした「近代化産業遺産」の保存・活用を推進するために「活用なくして保存なし」という考えのもと、約50年ぶりとなるSLの「復活運転」を推進していきます。

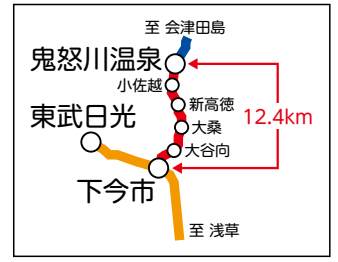
## 【運転計画概要】

運転開始予定時期 2017年夏

運転日数 土休日を中心に年間最大140日程度(1日3往復程度)

所要時間 約35分/片道

運転予定区間 東武鬼怒川線 下今市～鬼怒川温泉間



## 【車両計画】

鉄道産業文化遺産の復元・保存にご賛同いただいた全国の鉄道会社からのご協力を得て、車両を貸与・譲渡いただき、運行します。



C11-207/1両/JR北海道



DE10-1099/1両/JR東日本



客車  
スハフ14-1・14-5、オハフ15-1、オハ14-1  
オロ12-5・12-10/6両/JR四国



車掌車  
E8634/1両/JR貨物



車掌車  
E8709/1両/JR西日本

## 【SL 検修員・乗務員の養成】

検修員および乗務員の養成については、JR北海道、秩父鉄道、大井川鐵道、真岡鐵道の4社にご協力いただきながら教育訓練を進めています。



北海道にてSL研修作業中



投炭訓練を行う機関助手



机上教育を受ける機関士

## 【施設計画】

### (1) 転車台の設置

JR西日本が所有する、かつて国鉄で使用していた長門市駅転車台および三次駅転車台を譲渡いただき、それぞれ下今市駅、鬼怒川温泉駅に設置します。



長門市駅転車台



三次駅転車台

### (2) 南栗橋SL 検修庫の新設

SL復活運営にご協力いただいた関係各社から託された想いを受け継いで、SLをはじめとする保守技術の継承・伝承に挑戦していきます。



南栗橋SL検修庫